

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公開番号】特開 2019-54883 (P2019-54883A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-179631 (P2017-179631)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 8 日 (2020.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を制御する主制御装置と、遊技の演出を実行する演出制御装置と、を備える遊技機において、

前記演出制御装置は、

前記主制御装置から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、

前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義されたスケジューラーデータを選択し、当該スケジューラーデータに基づいて演出装置を制御可能とする演出実行部と、

を備え、

前記演出実行部は、第 1 周期に基づいて実行する第 1 演出実行部と、第 2 周期に基づいて実行する第 2 演出実行部とを含んで構成され、

前記第 1 周期は、予め定められた周期であって、前記第 2 周期よりも短い周期であり、

前記スケジューラーデータは、前記演出装置を制御するための命令であるファンクションを含んで構成され、

前記ファンクションには、実行中のスケジューラーデータから他のスケジューラーデータの実行を呼び出す呼出ファンクションが含まれ、

前記呼出ファンクションは、呼び出すスケジューラーデータとして 2 以上のスケジューラーデータを指定可能な分岐情報を設定可能とし、当該呼び出し元のスケジューラーデータの処理に復帰することなく他のスケジューラーデータによる処理を実行可能とし、

前記呼出ファンクションは、前記第 1 演出実行部と前記第 2 演出実行部とで共通して使用可能なファンクションである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した目的を達成するため、本発明の代表的な実施形態では、  
遊技を制御する主制御装置と、遊技の演出を実行する演出制御装置と、を備える遊技機  
において、

前記演出制御装置は、

前記主制御装置から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、

前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義  
されたスケジューラーデータを選択し、当該スケジューラーデータに基づいて演出装置を  
制御可能とする演出実行部と、

を備え、

前記演出実行部は、第 1 周期に基づいて実行する第 1 演出実行部と、第 2 周期に基づい  
て実行する第 2 演出実行部とを含んで構成され、

前記第 1 周期は、予め定められた周期であって、前記第 2 周期よりも短い周期であり、

前記スケジューラーデータは、前記演出装置を制御するための命令であるファンクショ  
ンを含んで構成され、

前記ファンクションには、実行中のスケジューラーデータから他のスケジューラーデー  
タの実行を呼び出す呼出ファンクションが含まれ、

前記呼出ファンクションは、呼び出すスケジューラーデータとして 2 以上のスケジュー  
ラーデータを指定可能な分岐情報を設定可能とし、当該呼び出し元のスケジューラーデー  
タの処理に復帰することなく他のスケジューラーデータによる処理を実行可能とし、

前記呼出ファンクションは、前記第 1 演出実行部と前記第 2 演出実行部とで共通して使  
用可能なファンクションである

ことを特徴とする。